

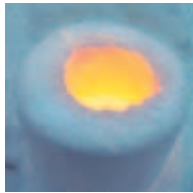
スノーキャンドル

市内に広がる明かりの輪

ろうそくの柔らかな明かりが、冬の夜を幻想的に彩るスノーキャンドル。誰でも簡単に作れる手軽さと明かりの美しさが人気を呼び、市内各地で目にするようになりました。

1月に入ると、市内の公園を中心に行われるイベント「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう!」(下記参照)をはじめ、各地の町内会や商店街などで、明かりがまちを照らします。

作って楽しい!
ともしてきれい!



子どもからお年寄りまで、作る過程を楽しめるのもスノーキャンドルの魅力。協力することの大切さや地域のつながりを感じるきっかけになることも。簡単な作り方をご紹介します。

1. バケツの中に空き缶を入れ、隙間に雪を詰め込む。
2. 逆さにしてバケツを外し、空き缶を取り出す。
3. 空き缶を取り出した穴に、ろうそくをとます。

「冬のまちにスノーキャンドルの灯りをともそう!」

ろうそくの点灯のほか、会場によってはスノーキャンドル作りにも参加できます。

日時1/22(土)午後4時30分点灯開始。

会場モエレ沼公園(21㍻)、百合が原公園(17㍻)、川下公園(白石区川下2651)、星観緑地(手稲区手稲星置201)など市内の公園を中心に約20カ所。

詳細冬のまちスノーキャンドル実行委員会 ☎090-8630-7737か、[HP park.geocities.jp/sapporo_candl](http://park.geocities.jp/sapporo_candl)



楽しい

身近にも郊外にも
冬だけの楽しい発見があります。

魅力都市
札幌

1

- ①新さっぽろ冬まつりのスノーキャンドル。23年は2/5(土)、6(日)に開催。
- ②カフェや個人宅で取り組む人も増加。
- ③モエレ沼公園。雪のブロックをドーム状に積み上げたイグルー(かまくら)作りも一緒に楽しむ。



2



3

公園や自宅を雪と明かりで彩ろう

冬のまちスノーキャンドル実行委員会 なかもら よしこ 中村 佳子さん

家にもこもりがちになる冬に、公園を活用して地域や仲間を楽しみたいと思い、スノーキャンドルのイベントを始めました。次第に広がり、9回目の今年は20カ所以上で開催されます。冬を気軽に楽しめるので、近所の公園や自宅などで一緒に明かりをともしませんか。



雪上自然散策



冬ならではの森をスノーシューで観察

雪のおかげで、夏場は笹やぶなどで阻まれる場所へも入っていける冬の森。樹木が葉を落とし、見通しも良くなります。ウサギの足跡や野鳥の姿を見つけたり、変化に富む冬芽を観察したり——スノーシューで散策すると、冬ならではの発見がいっぱいです。

スノーシューで冬の森を散策しよう

滝野すずらん丘陵公園(滝野スノーワールド)

動植物についての解説を聞きながら森を周遊するスノーシューガイドツアー(19㍻)を開催。スノーシューや双眼鏡は無料で貸し出します。

日時1/9~2/27の日曜午前10時30分~正午

受付場所森の交流館(南区滝野247。「滝野の森口」から入園)

定員各日15人(当日午前9時から先着順)

料金保険代50円、駐車場400円(普通車1台) 詳細☎592-3333



1



3



2

- ①特別な技術がなくても気軽に楽しめるスノーシュー(西洋かんじき)。
- ②タラノメの冬芽。積雪で視点が高くなるため、間近に観察できる。
- ③前足と後ろ足の使い方に特徴のあるウサギの足跡。